

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、これまでの学習内容の一定の定着がみられています。特に「情報の扱い方に関すること」については、情報と情報との関連付けや語句と語句の関係の表し方について理解ができていました。一方で、「我が国の言語文化に関する事項」については、読書が自分の考えを広げることの有用性に対する理解に課題がみられました。
- ・算数の平均正答率は全国と比べるとやや高く、一定の定着がみられています。特に「図形」については、図形の概念や体積の求め方を理解し、展開図や見取り図における面や直線の位置関係、直径など必要な情報をもとに立体の体積を導くことができています。一方で、「変化と関係」については、速さと道のり、時間の関係について、比例の関係をを用いて問題を解く力や、図の中の適切な数の関係をとらえて答えを導き、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「朝食を毎日食べていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」について高い数値を示しています。また、国語と算数の書く問題について「最後まで解答を書こうと努力した」という児童の割合が高いです。
- ・課題となる項目
「新聞を読んでいますか」という児童の割合が低いです。
「学校の授業時間以外に、ICT 機器を、勉強のために使っている」という児童の割合が全国に比べて低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・「我が国の言語文化に関する事項」についての学習では、読書が自分の考えを広げることの有用性に気づかせるために、図書資料だけでなく新聞や雑誌などに親しむことができるように、図書館司書とも連携をとりながら環境整備と啓蒙をしていきます。また、それらの資料から必要な知識や情報を得られるような学習活動を各教科等で取り入れていきます。
- ・「変化と関係」についての学習では、より日常的な場面をイメージした問題提起をしながら、子どもたちが得た知識や考え方を十分に発揮できるような指導を取り入れます。また、一つの考えにとどまらずに、多様なやり方や考え方にふれられるように、子どもたち一人ひとりが問題を解くための方法を考える時間や友だちの考えにふれられるような対話の時間をとり、学びをより深められるように授業改善に取り組みます。
- ・難しくても最後まで粘り強く取り組むというよさを認め、引き続き児童の自尊心・意欲を高めていきます。
- ・学習内容の確実な理解と定着を図るために、資料や ICT 機器を効果的に利用しながら、友達との対話、資料との対話、自己との対話を通して学びを深めていくための授業改善に取り組みます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、子どもたちが自ら学習内容ややり方を考えて学習に取り組めるよう声をかけてあげてください。
- ・引き続き、生活のリズムの大切さを確認しあい、朝食・睡眠を大切にする習慣を整えてください。
- ・生活を潤すために新聞や ICT 機器を使った家族対話の時間を設けてほしいと思います。その際、情報モラルについても話し合いをしてみてください。